

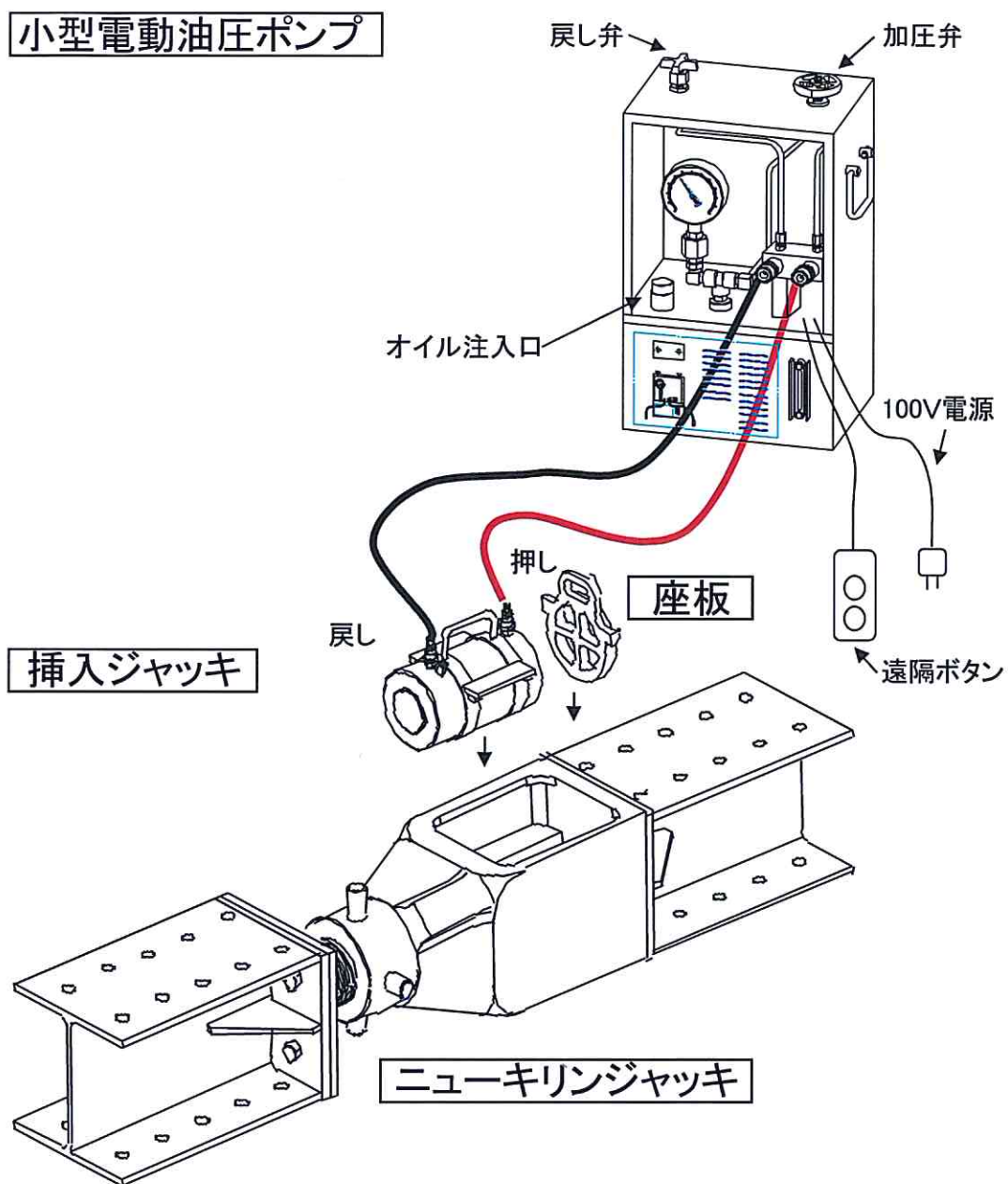
ニューキリンジャッキ取り扱い説明書 (挿入ジャッキと小型電動ポンプ)



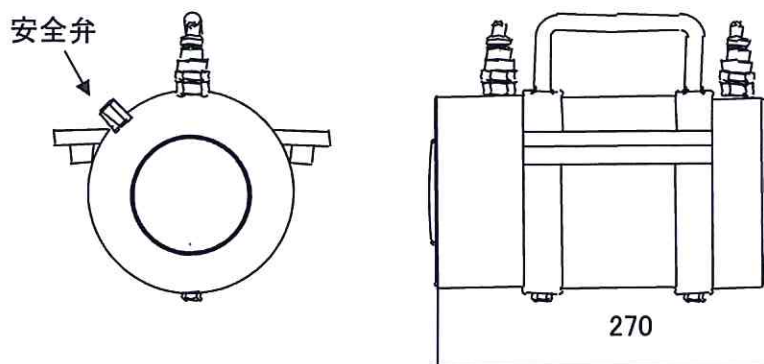
光洋工業株式会社

東京都墨田区江東橋1-12-8 KDビル4F
TEL 03-3634-3411

各部の名称



挿入ジャッキ外観図

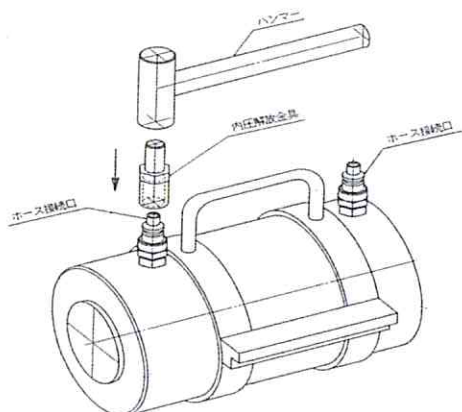


使用出来る、ニューキリンジャッキサイズ 300H・350H・400H

挿入ジャッキ仕様一覧表

最大出力	1200kN
ストローク	155mm
寸 法	外径Φ155*全長270mm
受圧面積	113.0cm ²
重 量	22.0kg

※ 夏場等、直射日光下で挿入ジャッキが熱くなり、高圧ホースがうまく接続出来ない場合、ジャッキの内部に内圧がかかっている場合がありますので下記の要領にてジャッキの内圧を抜いて下さい。



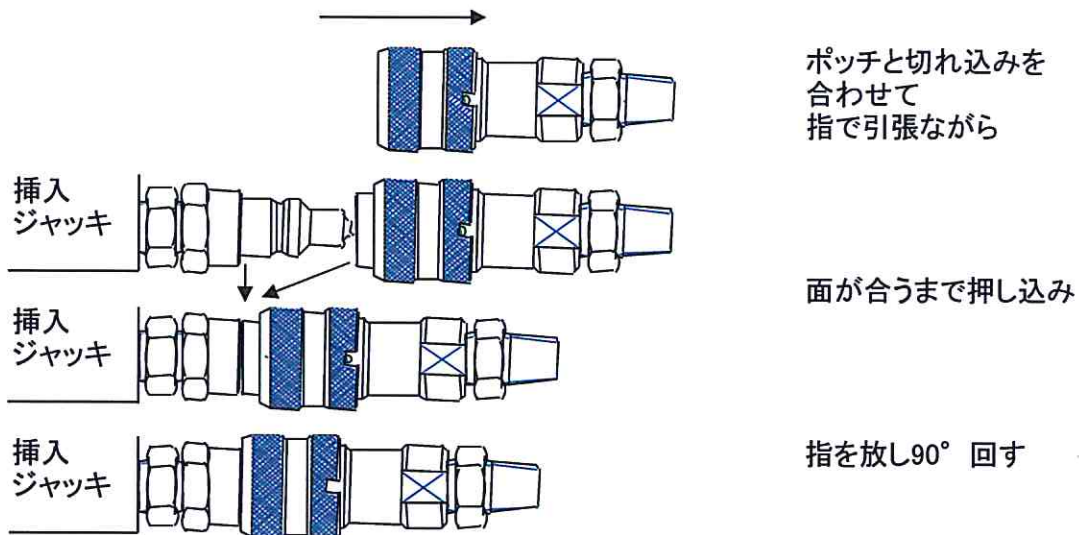
ホース接続口に、内圧開放金具をはめ込みハンマー等で軽く1～2回たたく。

使用油について

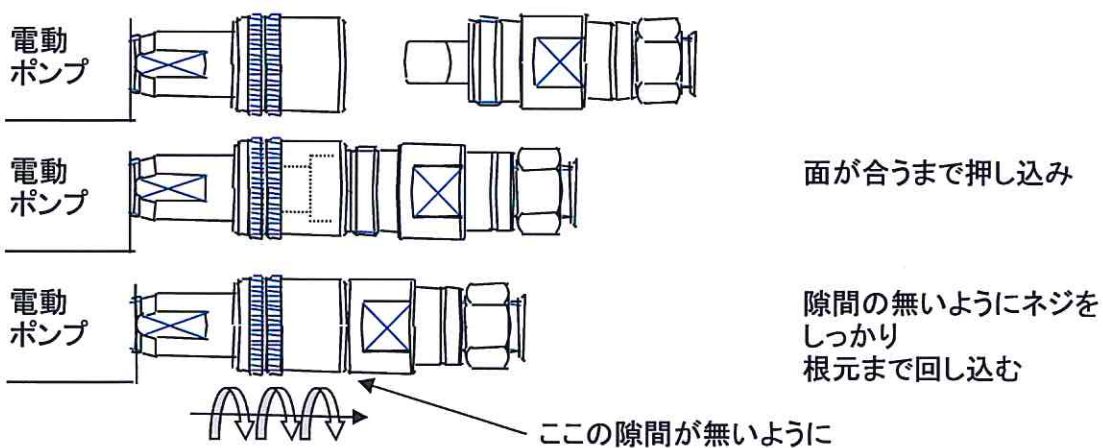
油圧作動油 #32～#46

メーカーは問いません。

挿入ジャッキと高圧ホースの接続方法



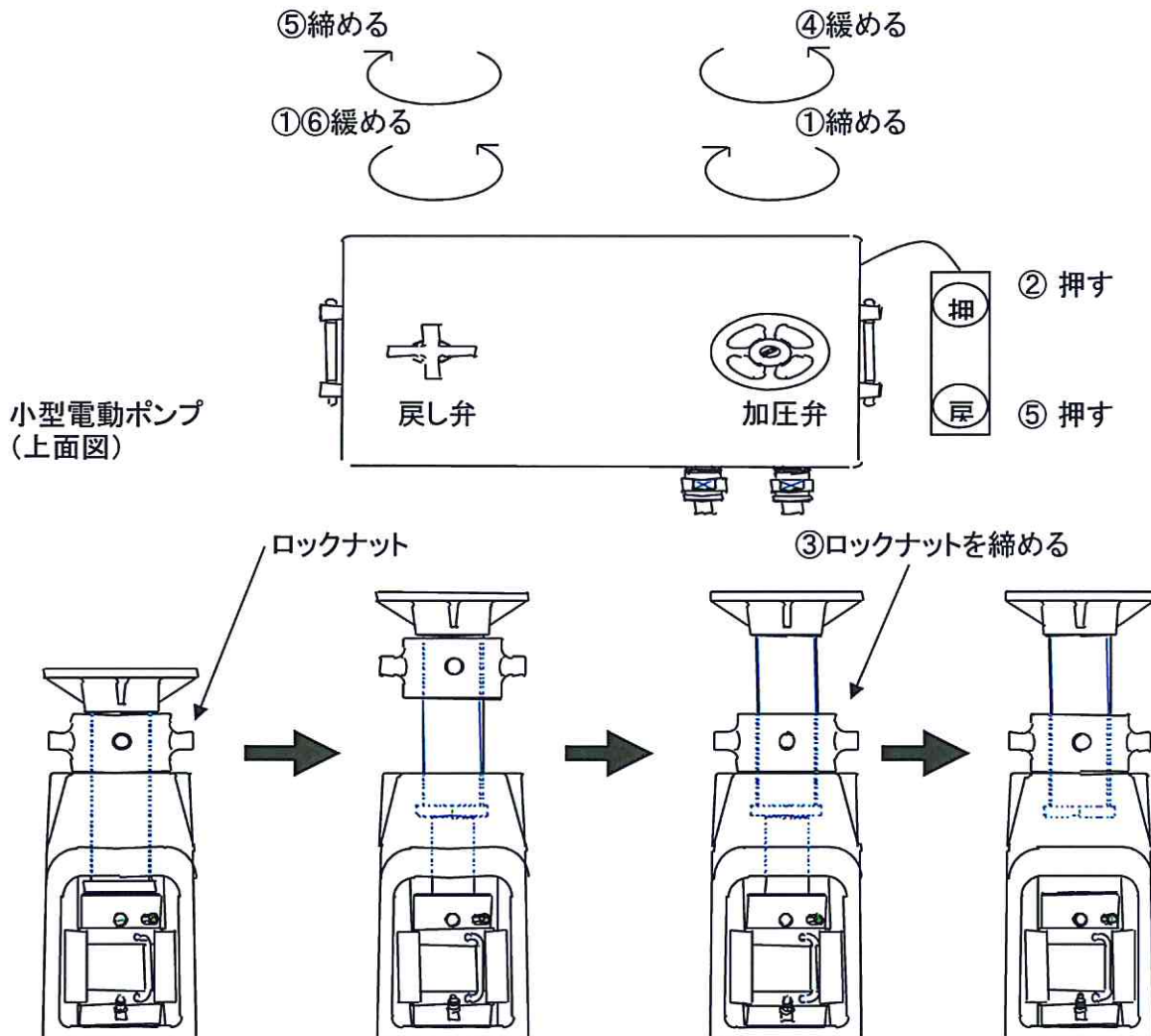
電動ポンプ(高圧ホース)と高圧ホースの接続方法



使用方法・1

ニューキリンジャッキ（挿入ジャッキ）

加圧



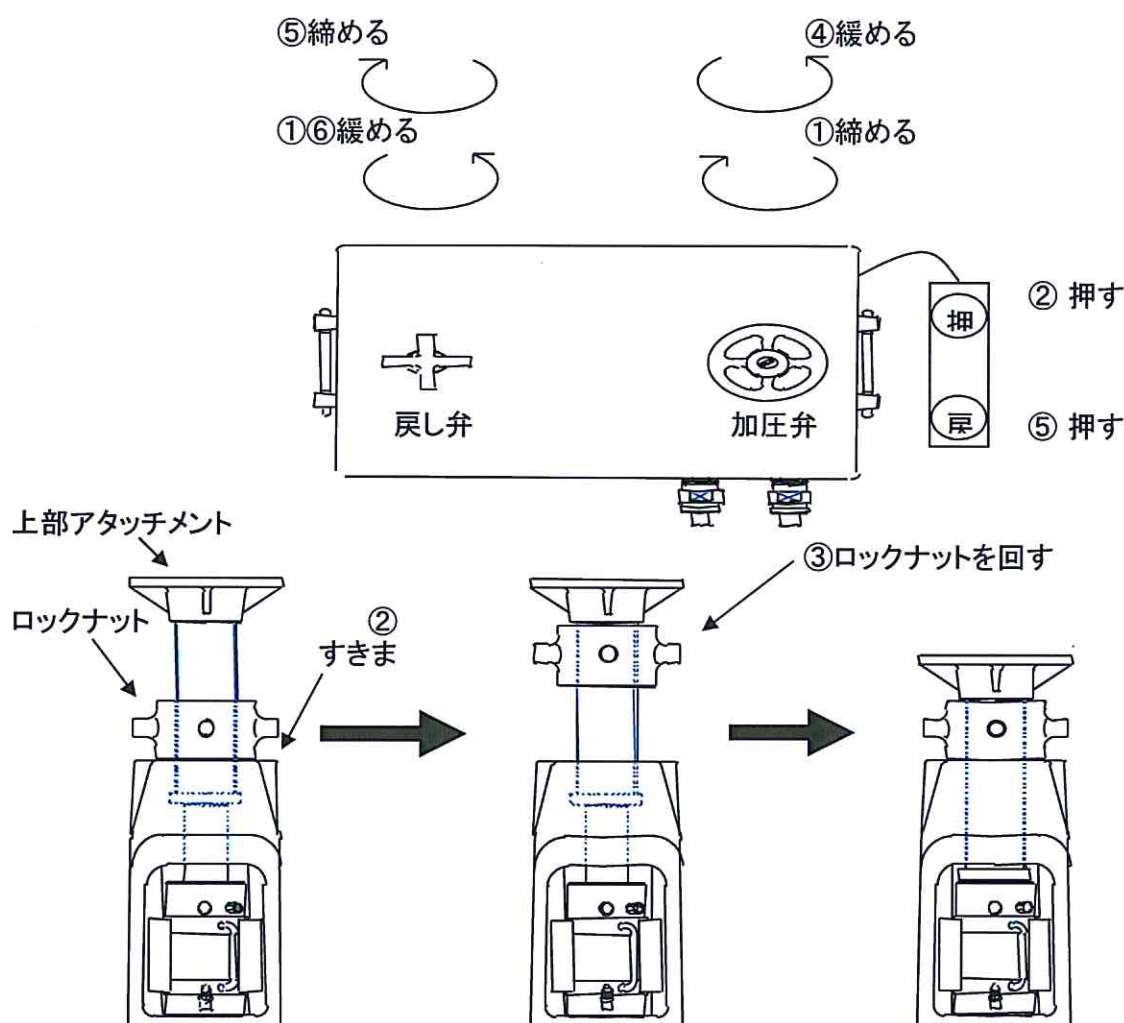
- ① 加圧弁を右回しに締め、戻し弁を左に回し緩める。
- ② 希望圧まで、ボタンの(押し)を押し続けます。ボタンを、離せば荷重が保持されます。
- ③ 加圧後、ニューキリンジャッキのロックナットを締める。
- ④ 加圧弁を ゆっくり と左回しに緩めて、0 荷重にする。
- ⑤ 戻し弁を右回しに締め、ボタンの(戻し)を押し続けると挿入ジャッキのピストンが戻り始めます。完全に戻り切る少し手前でボタンを離す。
- ⑥ 最後に、戻し弁を左回しに緩める。

注意 ※ 高圧ホースは2本共(押し・戻し)接続して使用する。

使用方法・2

ニューキリンジャッキ（挿入ジャッキ）

減圧・解体



- ① 加圧弁を右回しに締め、戻し弁を左回しに緩める。
- ② ロックナットと、本体ケースの間にすきまが出るまで、ボタンの(押し)を押します。
- ③ ロックナットを上部アタッチメント方向へ回す。
- ④ 加圧弁を ゆっくり と左回しに緩めて、0 荷重にする。
- ⑤ 戻し弁を、右回しに締めボタンの(戻)を押し、挿入ジャッキのピストンを戻す。
- ⑥ 最後に、戻し弁を左回しに緩める。
- ⑥ 挿入ジャッキのピストンを戻し、バルブを緩める。

注意 ※ 故障の原因となりますので、ストロークの戻し過ぎには注意して下さい。

※ ストローク戻しの際のボタン操作は、戻しボタンを押しては離し、押しては離しを、

1秒ずつ繰り返し行って下さい。

(戻しボタンを、押し続けるとジャッキの故障の原因となる為)